

逆境越え誇れる未来へ

松山東雲女子大・短大 340人が卒業式

松山東雲女子大・短期大の卒業式が11日、松山市桑原3丁目の同大チャペルであった。キャンパスライフのうち2年間は新型コロナウイルス禍という逆境にもめげず、勉学に励んだ計340人が未来への希望を胸に学びやを巣立った。

高橋圭三学長が代表者に卒業証書と学位記を授与。「制限ある生活が当分強いられると思うが、卒業後も自らを誇れる女性人材として、成長し続けてほしい」と激励した。

答辞では短期大食物栄養

学科の谷崎梨花さん(20)が「入学式がないまま、不安と戸惑いを感じながら始まった学生生活。楽しいときもつらいときも仲間が存在が支えになった」と時折言葉を詰まらせながら回想。女子大人文科学部心理子ども学科の山口果歩さん(22)は「なりたい自分になれたのかと問われると、まだ途中。これからも失敗を恐れず挑戦し、社会に貢献していく」と決意を述べた。

式後、学生らは学校が設置したフォトブースで記念



撮影。歌や楽器演奏で苦楽を共にした級友にエールを

送る卒業生の姿もあった。
(増田有梨)

高橋圭三学長から卒業証書と学位記を受け取る卒業生
＝11日午前、松山市桑原3丁目